

## ■ OnAir 2500 ユーザーレポート

山口放送株式会社 様

OnAir 2500 - 18

**KRY** 山口放送

### ラジオ第2スタジオをOnAir 2500で更新



山口放送株式会社  
制作技術部 制作技術課  
寺岡 岳男

#### ラジオ第2スタジオについて

山口放送では、ラジオ第1スタジオから生ワイド番組を放送し、第9スタジオからはワンマンオペレートでニュースを放送しています。第2スタジオ（以降2スタ）は自社収録番組制作の主力スタジオとして、また在京局等への素材送り出しスタジオとして運用しています。今回の2スタ音声卓更新は、昭和61年の設置から稼働していた音声卓の老朽化により、四半世紀ぶりの音声卓更新となりました。

#### 選定理由

- ・ 技術スタッフが立ち会う収録は稀なため、ディレクター若しくはアナウンサーのみの操作で簡単に収録可能なこと。
- ・ 技術スタッフが付く場合は、EQ・ダイナミクス等の細かい調整が可能なこと。
- ・ 更新前の卓を25年運用したように、長期間に渡り安定して動作し保守体制に問題の無いこと。
- ・ 第1スタジオで、ロードレース特番などを制作する場合、生ワイド番組の制作が2スタとなるため、レギュラー構成の生ワイド番組制作を可能な

フェーダー数を備えること。

- ・ 生番組制作用に、OAタリーによりN-1バスへの送り出し素材が制御出来ること。
  - ・ 電源2重化出来ること。
  - ・ スタジオの効率的運用のため、ワンマン収録も可能なこと。
  - ・ デジタルラジオの話もあるので高音質なこと。
- 上記仕様を満たし、価格的にも折り合いの付く音声卓の中で、
- ・ 本体及び拡張ユニットがほぼ標準仕様のままです。2スタの運用に対応できること（カスタム品が少なくコスト的・将来の保守的にも有利）
  - ・ 海外メーカーの音声卓ではあるが、国内の納入実績も相当数あり、日本法人のサポート体制が安定していること

上記2点も勘案し、OnAir 2500を選定しました。

#### 更新後

更新後数週間は2スタに常駐する覚悟でしたが、火入れ式の翌日にアナウンサーのみでの収録がありました。10分程度のレクチャーだけで以前の音声卓の様にスムーズに収録が終了し安心して同時に「OAシリーズの名前は伊達じゃない！」と感心しました。

更新後半年が経過し、制作サイドから細かい使用方法の問い合わせはありますが、5分・10分

の話で済む程度のものでし、制作サイドからも好評価を得ています。

また、細かい設定変更などもスチューダー担当者からの電話サポートで済んでいます。長年、放送局向けに音声機材を製作してきたスチューダー社だからこそそのノウハウが成せる技だと思えます。

#### 最後に

価格交渉・仕様変更etcに根気強くお付き合い頂いたスチューダー・ジャパンブロードキャストの皆様、工事期間中に弊社の事前調査不足の部分に快くご対応いただいたアイコニックの皆様に、深く感謝申し上げます。

